



MAM902A

LIXIL ハンドルセット・シリンダーセット・箱錠セット 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願い

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やミシン油を注入しないでください。
作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴潤滑剤または鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

■ハンドルセット(別途手配)

名称	入数	詳細
レバーハンドル セット	1セット	皿小ねじM4×12／2本

■シリンダーセット(別途手配)

名称	入数	詳細
シリンダー	1セット	シリンダー／2個、子鍵／5本、 工事キー(コンストラクションキー)／3本 <1ロック仕様のとき>*1 シリンダー／1個、子鍵／5本、 工事キー(コンストラクションキー)／3本 または、 シリンダー／1個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、 工事キー(コンストラクションキー)／3本

■箱錠セット

名称	入数	詳細
メイン箱錠	1個	皿小ねじM4×12／2本
サブ箱錠*1	1個	皿小ねじM4×12／2本
サムターン*2	1セット	サムターン／2個、皿小ねじM5×40／4本 <1ロック仕様のとき>*1 サムターン／1個、皿小ねじM5×40／2本 <セキュリティサムターン仕様のとき> サムターン・セキュリティサムターン／各1個、 皿小ねじM5×40／4本
取付け説明書	1枚	—

※1 1ロックの場合は、「サブ箱錠」は梱包されません。

※2 エントリーシステムの場合は、「サムターン」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。

■取付け順序

1 メイン箱錠・サブ箱錠の取付け

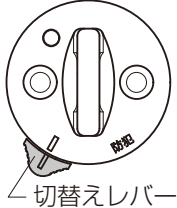
- 皿小ねじでメイン箱錠を取付けます。
- 皿小ねじでサブ箱錠を取付けます。

2 シリンダー・サムターンの取付け【WNキーの場合】

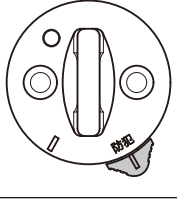
- シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
- サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
- サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
※メイン・サブ用のシリンダー、サムターンの区別はありません。(2ロック仕様の場合)

■セキュリティサムターン詳細図

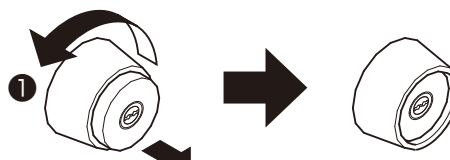
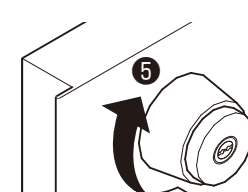
通常モード



防犯モード



【DNキーの場合】

- シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。

 - シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。
 - サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
 - サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
 - シリンダー座をドアの表面に合わせ締込み、仮締めしたねじを増締めします。

- ※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
- ※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。(2ロック仕様の場合)

3 レバーハンドルの取付け

- 外側台座を室外側から差込みます。
- 内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- 角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

■コンストラクション装置について(装置付きの場合)

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。(2ロック仕様の場合)

